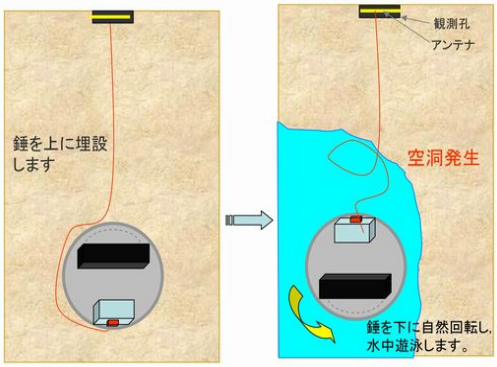
護岸空洞検知カプセルセンサ

Transcore

1. 護岸空洞検知カプセルセンサの概要

無線モジュールを内蔵したカプセルセンサを護岸に埋設し、吸出しによる空洞化でカプセルセンサーが回転、空洞発生を無線信号で発信通報します。

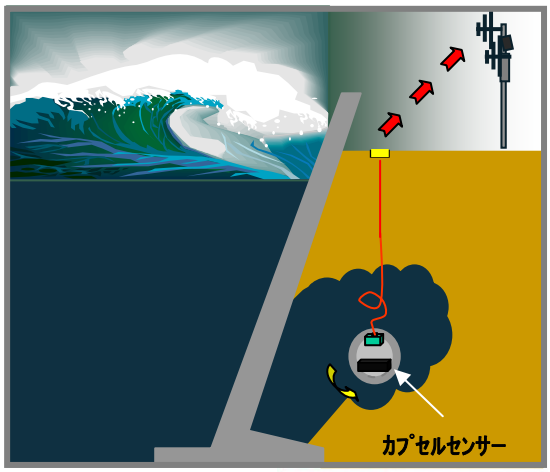


カプセルセンサの比重は海水とほぼ同じ、そのため海水中を浮遊します。

センサの動作

2. 護岸空洞検知カプセルセンサの特徴

1. 無線モジュールで空洞発生を無線通報します。
2. 無線モジュールは安価で、経済性に優れたシステムです。
3. 個々の無線モジュールは個別にID情報を持っていますので、≫多数のセンサを同時に運用ができます。
4. 受信装置とセンサ地上アンテナ間10mまで。移動する車両に受信アンテナを設置し計測が出来ます。
5. センサ内臓バッテリー寿命は約10年、長期間信頼性のあるシステム運用ができます。(寿命:出荷から洗掘検知までの時間、参考値)
   (但し、設置10年経過時、空洞検知開始後のバッテリー寿命は約4ヶ月です。)
6. 受信装置は車の電源で動作します。
7. 受信装置には、72時間駆動のバッテリーを内蔵しています。夜間・悪天候時、屋外でも長時間安定した監視が可能です。
8. 車載受信装置情報を事務所等に設置する処理装置で空洞情報をメールなどで、関係先に通報が可能です。(オプション)



3. 護岸空洞検知カプセルセンサの仕様

＜カプセルセンサシステム主要構成品＞

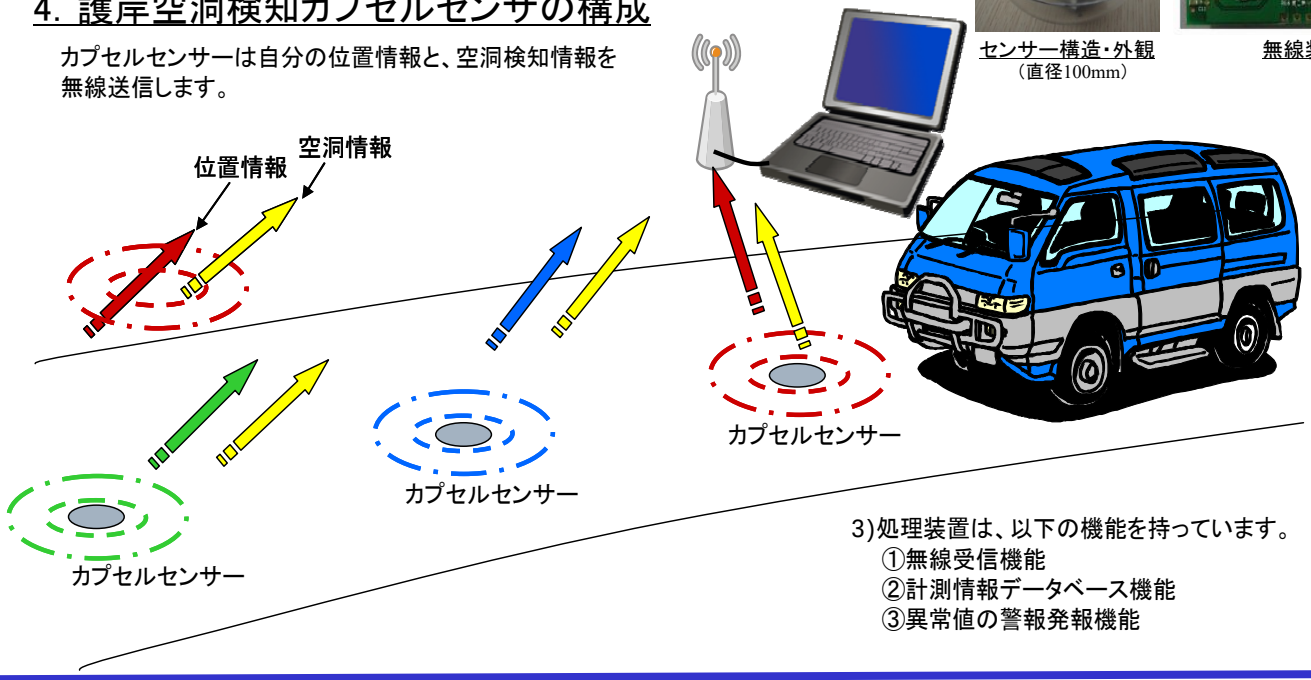
1. 空洞検知カプセルセンサ
   ⇒内蔵する無線モジュールが空洞発生を通報します。
   ⇒内蔵電池寿命は10年以上(参考値)です。
2. 受信装置(車載計測装置)
   ⇒専用アンテナで高感度に受信します。
3. 処理装置(事務所・出張所)
   ⇒データベースを持ち、空洞発生、時間、場所を通報します。

センサー構造・外観
(直径100mm)

無線装置

4. 護岸空洞検知カプセルセンサの構成

カプセルセンサーは自分の位置情報と、空洞検知情報を無線送信します。



3)処理装置は、以下の機能を持っています。
①無線受信機能
②計測情報データベース機能
③異常値の警報発報機能

Transcore 株式会社 トランスコア
本社 〒114-0001 東京都北区東十条3丁目15番6号
TEL 03-5902-8711
FAX 03-5902-8712

{カタログNO T2006-020-1}